



芝山小だより



冬休み号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

## 冬休みだからこそできることを

校長 寺井 俊敬

8月26日(木)から始まった2学期が本日で終わります。2学期はじめは、まだまだ緊急事態宣言下にありましたが、感染症対策を講じ、6年生日光修学旅行、5年生立科移動教室がありました。9月末には緊急事態宣言も明け、ふれあい運動会や展覧会等、規模を縮小しながらも少しずつ行事ができるようになってきました。日常の授業においても、少ない人数でのグループ活動、話し合いも行っています。いずれも保護者の皆様のご協力もあり、子供たちにとって、達成感を味わいながら次の活動への意欲のもてるよい学びの機会となりました。感謝申し上げます。

これから冬休みになります。同じ休業日でも、冬休みは夏休みや春休みと少し様子が違います。それは休業期間中に新たな年を迎えるということです。ご家族で過ごす時間がより多くなるかもしれません。だからこそ、家庭教育の機会と捉え、冬休みを子供たちにどのように過ごさせるかを考えてはいかががでしょうか。冬休みだからこそできることを3つ挙げてみます。

### 1 大掃除をする

私が子供の頃は、親は障子の張り替えや台所の掃除、私や兄たちは仏壇の仏具を磨いたり、窓ふきしたりと、役割分担をしながら大掃除をしていたことを思い出します。今はひと昔前のような大掃除の姿とは違うかもしれませんが、それでも、自分の部屋の整理整頓をする、家で使わなくなったものを処分する等、普段は行わないようなことを試みてはいかががでしょうか。ぜひ、掃除が終わった後は一言ねぎらいの言葉を掛けてほしいと思います。

### 2 家族で過ごす

ご家庭によっていろいろな過ごし方があると思います。オミクロン株による感染者が増え始め、心配されるころですが、親戚の家等に行かれるご家庭もあるかもしれません。反対に、まだまだコロナ禍、遠くには出かけられないというご家庭もあるかもしれません。いずれにせよ、普段よりお子様と一緒に過ごされる時間は増えるのではないのでしょうか。学習のこと、友達のこと、習い事のこと、将来のこと…題材は何でもよいと思います。ぜひ、家族の皆さんで過ごす時間をおもちいただき、日頃お子様と話せていないことについてお話してみてもいいでしょう。新しい発見があるかもしれません。

### 3 1年の目標を立てる

新しい年、2022年を迎えます。コロナウイルス感染症がどうなっていくのか先が見えない中、私たち大人でさえ目標を立てていくのは難しいと思います。しかし、1年のスタートです。コロナ禍、心配はありますが、「これはできるようになるまで頑張る」「これは最後までやり切る」といった目標について、ぜひ話し合ってみてほしいと思います。

本日、終業式で子供たちに、交通事故、不審者に注意することを話しました。また、困ったときには、近くの大人の人に相談するように話しました。3学期始業式、冬休みで成長した子供たちの元気な姿を見られることを楽しみにしています。1年間、本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

(学校ホームページ「校長室より」は、本日分掲載で、今年最後です。2022年は、1月11日(火)から再開予定です。学校ホームページ「校長室より」「花だより」「給食通信」も、ぜひご覧ください。)